



週間情報



No.2640

発行日 平成26年10月14日
発行所 全国消防長会
一般財団法人全国消防協会
担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

消防本部の動き

行事

◆ 西東京消防少年団が高齢者施設を慰問

東京消防庁（東京）

東京消防庁西東京消防署では、敬老の日にちなんで、平成26年9月21日（日）、西東京消防少年団により管内にある老人ホーム「アミーユレジデンス西東京」（西東京市中町）を慰問しました。

はじめに、小学生による包帯法を実施しました。毎月の活動で訓練に励んだ成果を発揮し、額と腕の傷の手当てと、骨折した時に腕をつるす包帯法を全団員がしっかりと披露することができました。次に中学生団員によるAEDを使用した心肺蘇生法を披露ところ、「難しいのに、てきぱきとできて立派だね。」と、皆さんから感心の拍手をいただきました。

その後、皆で一緒に「故郷」や「幸せなら手をたたこう」を歌いました。「幸せなら肩たたこう♪」と歌いながら、団員が入居者の肩をトントンと叩くと、お互い笑顔になって、打ち解けた雰囲気になりました。歌の後は、折り紙やあやとり、風船ゲーム等をしながら楽しい時間を過ごしました。最初は緊張して無口になる団員もいましたが、時間が経つにつれ、笑顔があふれるようになり、お年寄りの皆さんもとても楽しんでいる様子でした。

最後に、団員が心をこめて書いたメッセージカードをプレゼントし、「季節の変わり目に体調をくずされないよう、元気にお過ごしください。」とあいさつしたところ、涙を流して喜ばれた方もいました。



【消防少年団による高齢者施設慰問の様子】

◆ 消防フェスタ 2014 を開催

八女消防本部（福岡）

八女消防本部では、9月20日（土）、一般財団法人日本防火・防災協会、八女地区防火委員会、八女地区防災協会、八女地区消防設備士会との共催で八女の祭りと併せて八女地区消防フェスタ 2014 を開催しました。

会場では参加者だけでなく八女の祭りに訪れた方々もオープニング及び防火ポスタークール表彰式の様子を見学し、また、防火防災に関する各体験コーナーにおいて多くの方が参加しました。来場者のなかには家族連れが多くおり、多世代にわたり防火防災意識の高揚と普及啓発を効果的に行うことができました。会場は子ども達の笑顔で溢れ、カメラで撮影するお父さんお母さんの姿が多く見受けられました。

なお、防火ポスタークールは八女地区の幼年・少年消防クラブを対象に実施し、入選作品をカレンダーとして各団体に配布することで効果的な広報を図ることができました。



【消防フェスタ 2014 の様子】

◆ 腹話術を用いた防火教室を実施

くまこうげんちょう 久万高原町消防本部（愛媛）

久万高原町消防本部では、平成26年9月22日（月）、管内の保育園及び児童館において、同施設を利用する園児、児童を対象に、腹話術を用いた防火教室を実施しました。

この防火教室では、署員が「消ちゃん」と腹話術人形を用いてアトラクションを行い、幼少年期から火災予防・防災に関する知識を身に付けることで各家庭や学校などにおける火災の防止を図ることを目的としました。

子ども達は、物珍しい腹話術に目を輝かせながら、火災の恐ろしさや防火知識、消火器の取り扱いについて「消ちゃん」と一緒に楽しく学びました。



【腹話術を用いた防火教室の様子】

訓練・演習

◆ DMA Tとの集団救急事故対応訓練を実施

長野市消防局（長野）

長野市消防局では、平成26年9月6日（土）、長電バス株式会社長野営業所駐車場において、集団救急事故対応訓練を実施しました。当市消防局から消防隊・高度救助隊・救急隊等16隊のほか、長野赤十字病院ドクターカー、長野県DMA T、長野市保健所が参加し合計約100名で行いました。

訓練は一部ブラインド形式で、長電バスの大型観光バスや廃車となった普通乗用車を使用し、災害発生後の初動対応、救出・救護、トリアージ、応急救護所の設置・運営訓練等を行いました。

また、訓練終了後にはお互いの活動について検証を行い、関係機関の役割や連携方法について再確認しました。

本訓練は今年で2回目となり、継続して参加していただいている長野県DMA Tや長野市保健所とは、「顔の見える連携」が醸成されてきていると実感できました。

今後とも実戦的な訓練を継続的に実施し、災害対応能力の向上を図ります。



【DMA Tとの集団救急事故対応訓練を実施】

◆ 兵庫県消防防災航空隊と連携訓練を実施

加古川市消防本部（兵庫）

加古川市消防本部では、平成26年9月17日（水）、兵庫県消防防災航空隊と連携訓練を実施しました。これは、消防防災ヘリコプターが有効な災害事案において、迅速かつ的確に対応することを目的に実施したものです。

訓練は、座学と実機による実践的な想定訓練に分けて行い、連携活動に関する知識、技術の向上を図るとともに消防防災ヘリコプターの有効活用について認識を深めることができました。

今後、この訓練での経験を災害現場に生かし、航空隊と連携を図りながら住民の暮らしの安全・安心を守っていきます。



【兵庫県消防防災航空隊と連携訓練を実施】

◆ 石油コンビナート等特別防災区域における合同訓練を実施

千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局美浜消防署では、平成26年9月17日（水）、成田国際空港株式会社千葉港頭石油ターミナル桟橋及び前面海域において、千葉県石油コンビナート等防災計画に基づき、石油コンビナート等特別防災区域における防災体制の確立と防災意識の高揚を図ることを目的とした合同訓練を実施しました。

本訓練は、東京湾を震源とする直下型地震の発生により、桟橋に設置されているローディングアームの配管接続部から燃料が漏えいし、一部が海上に流出、火災が発生したとの想定で実施し、千葉海上保安部、千葉県警察本部地域部水上警察隊、株式会社ダイトーコーポレーション、日本空港給油株式会社、千葉市新港地区共同防災隊、千葉港頭石油ターミナル自衛消防隊が参加しました。

今後も大規模地震等の不測発災時に備え、定期的に各機関が連携した訓練を重ねることが災害発生時における被害の低減に繋がるものと思われます。



【石油コンビナート等特別防災区域における合同訓練を実施】

◆ 旧石切出張所庁舎解体工事に伴う実戦訓練を実施

東大阪市消防局（大阪）

東大阪市消防局では、平成26年9月29日（月）、旧石切出張所庁舎の解体工事に伴い同庁舎を使用し、消防隊及び救助隊合同による安全で効率的な破壊要領の習熟を目的とした実戦訓練を行いました。

訓練内容としては、網入りガラス破壊、手動・電動シャッター、鉄製・木製ドアの開放、エンジンカッターによる切断、コンクリート壁削岩（ブリーチング）等の訓練を実施しました。

今後もこの様な実戦的な訓練を継続して実施し、隊員の活動技術の向上を図っていきます。



【庁舎解体工事に伴う実践訓練を実施】

◆ 若年層の職員を対象に安全運転講習会を実施

柏市消防局（千葉）

柏市消防局では、平成26年8月11日（月）、18日（月）、25日（月）の3日間、柏南自動車教習所の敷地を利用し、若年層の職員を対象とした安全運転講習会を開催しました。

昨年度までは機関員を対象に講習を実施していましたが、今年度の講習会は今後の機関員の世代交代を踏まえ、機関員未経験者に限定し、管内の4消防署、7分署のなかから、将来、機関員に携われるようになると若き職員52名が受講しました。

自動車安全運転センター安全運転中央研修所で「消防・救急緊急自動車運転技能者課程」を修了した職員が講師となり、パワーポイントを使用した講義とS字コースを利用したバックスラローム、教習コースに様々な障害物を設定した模擬市街地走行等、バリエーション豊かな実技講習を行いました。

今後も安全運転に関する講習会を継続的に行い、安全運転技術の向上を図っていきます。



【S字コースを利用したバックスラローム】

◆ 社会福祉施設職員を対象とした防火防災研修会を実施

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部では、平成26年9月12日（金）、社会福祉施設職員を対象とした防火防災研修会を開催しました。

この研修会は一昨年から始めたもので3回目の開催となり、施設においては入所者による自力での避難が困難であることから関心も高く、今回は管内の認知症対応型のグループホームなどの施設から19名の参加がありました。研修プログラムは防火防災に関する座学と実技を主体としたもので、防火防災の認識と火災予防の一層の強化を図ることを目的に実施しました。

研修後に消防職員との意見交換を行ったところ、参加者から消火や避難等についての質問があり、活発な意見が交わされました。参加者のアンケートでは、「研修会を年に1回でなく何回か開催してほしい。」、「消防との連携の重要性を再認識した。」という意見が寄せられました。



【防火防災研修会の様子】

◆ 消防用設備等研修会の開催

大分市消防局（大分）

大分市消防局では、平成26年9月25日（木）、消防職員の知識及び能力の向上を目的として消防用設備等研修会を開催しました。

本研修会は予防業務に従事する職員を対象とした研修会として、ホーチキ㈱九州支社消火システム課長を講師に招き、「消防用設備等の点検要領等について（消火設備）」というテーマで講義が行われました。

団塊の世代の大量退職等によって人材の入れ替わりが激しく、予防業務に従事する職員も若くなっています。この研修会によって、参加した職員が消防用設備等に係る点検等の基本的な考え方を再確認することができ、大変有意義な研修会となりました。



【消防用設備等研修会の様子】

その他の

◆ 住宅用火災警報器の配布・設置事業を実施

糸満市消防本部（沖縄）

糸満市消防本部では、住宅防火・防災キャンペーン期間中である平成26年9月17日（水）、一般社団法人全国消防機器協会社会貢献委員会から住宅用火災警報器の配布・設置事業により寄贈された住宅用火災警報器を市内在住の65歳以上ののみで構成される世帯を対象に配布しました。

職員のみならず、消防団員、女性防火クラブ、民生委員と多くの協力を得て実施した結果、地域の実状についての助言を得ることができ、効率的な事業進行となりました。また、普段接する機会が少ない方々と合同で実施することにより各団体相互の連携強化にも繋がったのではないかと感じています。

訪問先では住宅用火災警報器の設置以外に防火診断（タコ足配線、台所付近使用状況の確認等）の実施、防火・防災に関する質問時間を設ける等、単に設置するのみではなく市民の防火・防災意識の向上を図りました。

今後も住宅用火災警報器の設置率向上に向け、どのような広報活動が有効的なのか等、職員一同アイデアを出し合いながら火災予防業務に努めていきます。



【住宅用火災警報器配布等事業出発式の様子】



【設置の様子】

◆ 「住宅用火災警報器及び住宅用消火器配布モデル事業」の伝達式を実施

稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部では、平成26年9月18日（木）、龍ヶ崎市役所において、「住宅用火災警報器及び住宅用消火器の配布モデル事業」の決定に伴う一般社団法人全国消防機器協会からの伝達式を行いました。

同協会が実施する同事業に龍ヶ崎市をモデル地区として当消防本部が申請し無償配布が決定したもので、このたび同協会から住宅用火災警報器100個及び住宅用消火器25本が寄贈されました。

龍ヶ崎市では、一人暮らしの高齢者世帯を対象に配布を進める予定としており、機器の設置については龍ヶ崎市消防団の協力を受けます。

当消防本部では、今後も住宅用火災警報器の設置促進を含めた住宅防火対策の推進に努めています。



【伝達式の様子】

◆ メールアドレスの変更について

- 31609 埼玉西部消防局（埼玉）

新メールアドレス soumu@union.saisei119.lg.jp

平成26年10月7日から運用開始

国等の動き

消防庁通知等

◆ 火災・事故防止に資する防災情報データベースの活用について（10月6日、事務連絡）

危険物保安室より、各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各政令市担当課あてに次のとおり事務連絡されましたのでお知らせします。

平素より、危険物における事故防止にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

危険物等による事故が多発している状況に鑑み、消防庁では危険物・化学関係業界団体等と連携し、事故の防止に努めているところですが、事業所における事故防止及び被害拡大防止に資する方策として、関係業界団体及び（一財）消防科学総合センターと連携し、消防防災博物館の公式サイト（運営：（一財）消防科学総合センター）上において、平成22年1月から「火災・事故防止に資する防災情報データベース」を公開しています。

本データベースは、危険物、化学関係事業所等において発生した火災、漏えいなどの事故等について、その事象の概要や再発防止対策をまとめ、データベースとして広く公開することにより、事業所等における事故防止及び被害拡大防止に役立てていこうとするものです。

貴職におかれましては、消防防災業務において本データベースをご活用いただくとともに、各都道府県消防防災主管課にあつては、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合を含む。）に対しても、周知いただきますようお願いいたします。（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ

（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2610/pdf/261006_jimuren.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】

危険物保安室危険物指導調査係
担当：鳥枝、清水、黒木

◆ 第23回全国救急隊員シンポジウムの開催について

相模原市消防局（神奈川）
一般財団法人救急振興財団

相模原市消防局と（一財）救急振興財団は、平成27年1月29日（木）、30日（金）の2日間、神奈川県相模原市において、下記のとおり標記シンポジウムを開催します。

記

1 開催日時

平成27年1月29日（木） 9:30～17:20（開場・受付 8:30～ 一部 9:00 から）
平成27年1月30日（金） 9:00～12:40（開場・受付 8:30～ 一部 9:00 から）

2 開催場所

相模女子大学グリーンホール（相模原市南区相模大野四丁目4番1号）
小田急ホテルセンチュリー相模大野（相模大野相模原市南区相模大野三丁目8番1号）
b o n o 相模大野 市民・大学交流センター（相模原市南区相模大野三丁目3番2号）

3 メインテーマ

「救命の未来予想図をいま！ ～はやぶさの故郷さがみはらから～」

4 プログラム

【1月29日（木）】

- (1) 特別講演『救命の未来予想図』
- (2) シンポジウムI『学校へのBLS教育導入について』
- (3) シンポジウムII『指導救命士のあり方について』
- (4) シンポジウムIII『航空機による広域医療搬送の展望について』～大規模災害に備えて～
- (5) パネルディスカッションI『救急需要対策』～転院搬送と地域病院の取り組み～
- (6) パネルディスカッションII『山岳救助における救急活動について』
- (7) 教育講演I『終末期の医療倫理の基礎とDNR』
- (8) 教育講演II『ガイドライン2010の評価』～ガイドライン2015に向かって
- (9) ミニレクチャーI『救急活動上の法律問題』～拡大2行為～
- (10) スキルレクチャー『救急隊員が活用する心電図のポイント』
- (11) 市民公開講座『救急車を呼ぶ前に』～市民が行うトリアージ～
- (12) 救急救命士心肺停止前トレーニング『循環器分野』『周産期分野』『精神科分野』
- (13) 一般発表1～10 採用演題のスライドはポスター化し終日展示

【1月30日（金）】

- (1) シンポジウムIV『全国の救急医療体制とシステム構築』
- (2) ミニレクチャーII『小児救急の現状と課題』
- (3) ケーススタディ『精神科救急が抱える課題』～円滑な救急活動を目指して～
- (4) ライブセッションI『静脈路確保の成功率を上げる方法』
- (5) ライブセッションII『異常分娩における対応方法』
- (6) 総合討論『救急隊員のあるべき姿について』～メディカルコントロール体制の展望～
- (7) 救急救命士心肺停止前トレーニング『意識障害』
- (8) 一般発表11～16 採用演題のスライドはポスター化し終日展示

5 その他

プログラムの内容は今後、追加・変更等が生じることが考えられますが、最新の情報は第23回全国救急隊員シンポジウム専用ホームページ(<http://23sagamihara99sympo.com/>)内で運営に関する情報も含め、随時更新して公開しておりますのでご参照ください。

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcaj.gr.jp